

児童発達支援又は放課後等デイサービス事業に係る自己評価結果公表用

公表日： 令和 6年 1月 ●日

事業所名： おひさまパレット

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
環境・体制整備	1 利用定員に応じた指導訓練室等スペースの十分な確保	<ul style="list-style-type: none"> <li>・十分に確保している</li> <li>・利用児童に応じてパーティションできって一人ひとりが落ち着いて過ごせる空間を作っている</li> </ul>	(ご意見なし)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・十分に確保している</li> <li>・パーティションで部屋を区切り、遊ぶスペースの確保をしている。パーティションで死角が出来ないように置く場所を工夫していく</li> </ul>
	2 職員の適切な配置	<ul style="list-style-type: none"> <li>・職員は適切に配置している</li> </ul>	(ご意見なし)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用人数に応じて、十分な配置をしている</li> <li>・活動内容に応じて職員数の増員を行い、利用児童をグループ分けをして少人数での活動が出来るようにしていく</li> </ul>
	3 本人にわかりやすい構造、バリアフリー化、情報伝達等に配慮した環境など障害の特性に応じた設備整備	<ul style="list-style-type: none"> <li>・場所と活動内容の対応や、見直しが持ちやすくなるような配置、構造化などに取り組んでいる</li> <li>・利用者に応じて、絵カードや文字を使用して流れを知らせている</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2階への階段が急だと感じる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用児童に合わせて絵カードや写真・文字を利用して視覚的に分かりやすく伝達していく</li> <li>・2階は他施設であり、おひさまパレットの活動で2階に行くことはない。</li> </ul>
	4 清潔で、心地よく過ごせ、子ども達の活動に合わせた生活空間の確保	<ul style="list-style-type: none"> <li>・パーティションを利用してコーナー分けすることで遊びやすい環境にしている</li> <li>・来園前には、窓を開けて換気をし、降園後には、玩具や机、椅子の消毒を行っている</li> </ul>	(ご意見なし)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎日の掃除や消毒を徹底して行っていく</li> <li>・利用児童の来園前には窓を開けて換気している</li> <li>・利用児童に合わせて、机やパーティションの配置や遊ぶ場所の工夫をしていく</li> </ul>
業務改善	1 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)への職員の積極的な参画	<ul style="list-style-type: none"> <li>・朝、各職員が何をするのかを聞き取り、進行状況の確認をして、時間を意識しながら業務が進められるようにしている</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・打ち合わせや反省の時間を十分に持ち、次の支援に繋がるようにしていく</li> <li>・会議の時間を定期的に持ち、業務の改善を見直していく</li> </ul>
	2 第三者による外部評価を活用した業務改善の実施	<ul style="list-style-type: none"> <li>・系列の園の職員が入れ替わり、他の園に行く研修を行って、客観的に見ることが出来るような機会を設けている</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・他事業所の職員と意見交換をし、業務改善を検討していく</li> </ul>
	3 職員の資質の向上を行うための研修機会の確保	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全体研修や新人研修や施設代表の研修など人数を分散しての研修も行っている</li> <li>・外部の研修に参加したスタッフは報告書を他の職員にも伝達する場を設けている</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・研修や意見交換の場を設け職員の資質の向上に努めている</li> </ul>

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
適切な支援の提供	1 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の作成	・面談を行い、保護者様のニーズを確認して、職員間でカンファレンスを行い、計画を作成している	(ご意見なし)	・面談の時や送迎で保護者様と会うときにニーズを確認して、利用児童の行動分析を記録し、個別支援計画書を作成している ・アセスメントシートに基づき、職員間でカンファレンスを行い、課題やニーズを分析している
	2 子どもの状況に応じ、かつ個別活動と集団活動を適宜組み合わせた児童発達支援又は放課後等デイサービス計画の作成	・子どもの状況を色々な目線で把握するため、職員間での話し合いを持ち、個別な支援と集団での支援を取り入れた計画を作成している		・個別活動では、学習の時間を設け、一人一人に合う課題を用意して、支援している ・集団活動では、コミュニケーションを中心にして、したい活動を子どもたちにも確認しながら、活動内容の工夫をしている ・ニーズに応じて、個別活動と集団活動をバランスよく計画を立てて行っていく
	3 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画における子どもの支援に必要な項目の設定及び具体的な支援内容の記載	・計画案は具体的に分かりやすいように作成している		・「項目」「具体的な達成目標」「支援内容・留意事項」と分かりやすいように記載して、スモールステップで具体的に分かりやすく記載するようにしていく
適切な支援の提供(続き)	4 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画に沿った適切な支援の実施	・支援計画をもとに日々の活動に取り入れられるように日々の打ち合わせで確認するようにしている	(ご意見なし)	・計画の内容や保護者様との面談内容も現場スタッフ全員で共有して、統一した支援を図っていく
	5 チーム全体での活動プログラムの立案	・打ち合わせを十分に行い、利用者の特性に合わせて職員間で意見を出し合いながら、日案を組んでいる	(ご意見なし)	・担任スタッフを中心に現場スタッフ全員でプログラム内容について話し合い、計画を立てて、見直しも継続していく
	6 平日、休日、長期休暇に応じたきめ細やかな支援	・長期休暇は、利用時間や送迎時間に変動があり、持ち物も変わるので、保護者様への事前連絡をしている ・休日後は、生活リズムが崩れることもあるので、送迎時に変わらないか、休日は楽しく過ごしたかなど保護者様に確認をしている		・長期休みや土曜日は時間が長いので、午前と午後でテーマ活動を分けたり、園外活動を計画していく
	7 活動プログラムが固定化しないような工夫の実施	・活動内容について会議を持ちプログラムがマンネリ化しないように職員間で意見を出し合っている ・利用者にしてほしい活動を聞き、取り入れていくようにしている		・職員間で話し合っ、テーマ活動の内容に変化を持たせ固定化しないように工夫している
	8 支援開始前における職員間でその日の支援内容や役割分担についての確認の徹底	・支援が始まる前に支援内容や職員の役割について十分話し合うようにしている		・朝礼にて、前日の内容や役割分担について打ち合わせをしLINEなどを活用してプログラムを職員全体に共有していく

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
せ	9	支援終了後における職員間でその日行われた支援の振り返りと気付いた点などの情報の共有化		・支援終了後に反省会を行い、連絡ノートに記入したり、LINEなどを利用して全員で共有できるようにしていく
	10	日々の支援に関する正確な記録の徹底や、支援の検証・改善の継続実施		・全体の活動の記録に加え、利用者一人一人の記録をとっていく ・次の日に活かせるような内容で記入するようにしていく
	11	定期的なモニタリングの実施及び児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の見直し	・職員間でカンファレンスを行い、その都度計画案を見直して作成している	・半年ごとの個別支援計画書の作成・見直しの際に保護者様と面談し、現状報告とともにニーズの再確認をしていく
関係機関との連携	1	子どもの状況に精通した最もふさわしい者による障害児相談支援事業所のサービス担当者会議へ参画	・担当者会議には児童発達支援管理責任者と担当職員が参加している	・児童発達管理責任者ととも子どもと日々かかわっている現場スタッフも同行して会議に参加していく ・必要な場合には相談支援事業所に会議の提案をしていく
	2	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援の実施	・学校とは、送迎時に様子を確認するようにしている ・担当者会議を持っている	・保護者様を通して情報共有をしたり、支援会議を持つようにしている
	3	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制の整備	・保護者様を介して連絡を取っている	・医療機関や主治医との連携を取るようになっていく
	4	児童発達支援事業所からの円滑な移行支援のため、保育所や認定こども園、幼稚園、小学校、特別支援学校(小学部)等との間での支援内容等の十分な情報共有	・引継ぎ連携会議を十分行うようにしている	・保護者様を通して情報を得ている ・連携機関との会議を重ね情報共有していく
	5	放課後等デイサービスからの円滑な移行支援のため、学校を卒業後、障害福祉サービス事業所等に対するそれまでの支援内容等についての十分な情報提供	・進路について保護者との話し合いをしたり、作業所見学などを実施している	・現在利用者が小学生のみであるため、該当者なし

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
	6 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携や、専門機関での研修の受講の促進	・研修には積極的に参加するようにしている	/	・積極的に参加するようにしている
	7 児等発達支援の場合の保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの場合の放課後児童クラブや児童館との交流など、障害のない子どもと活動する機会の提供	・現在は実施していないがコロナも落ち着いてきているので、地域との関わりを持っていきたいと考えている ・公園などで地域の子供たちと関わって遊ぶことはある		・地域交流の場が持てるように働きかけていく ・コロナが落ち着いて、またその様な機会が増えるといいなと思います
	8 事業所の行事への地域住民の招待など地域に開かれた事業の運営	・実施していない ・お茶会や園開放など地域の方を招待するイベントの企画なども考えていく		・地域交流が持てるように工夫していく
保護者への説明責・連携支援	1 支援の内容、利用者負担等についての丁寧な説明	・契約時や保護者様との面談時に説明をすようにしている	(ご意見なし)	・契約時に丁寧な説明を心掛けている ・支援の内容については、支援計画書を元に説明している
	2 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を示しながらの支援内容の丁寧な説明	・計画案の作成前には、保護者様のニーズの聞き取りをして作成し、出来上がった計画案をもとに保護者様に丁寧に説明している	(ご意見なし)	・具体的に分かりやすく説明するように心がけている
	3 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対するペアレント・トレーニング等の支援の実施	・保護者様に参加してもらい、おひさま会を実施している	(ご意見なし)	・定期的に保護者様の座談会を設けている ・様々な子どもに合わせたテーマで話ができるようにしていく
	4 子どもの発達の状況や課題について、日頃から保護者との共通理解の徹底	・送迎時や送ってこられたときに日々の様子を話すようにしている ・場合によっては、電話連絡や面談を持つようにしている	(ご意見なし)	・日々、送迎時などに伝えるようにしている ・気になることがある場合は、面談を持ち、出来る限り早い対応を心掛けている
	5 保護者からの子育ての悩み等に対する相談への適切な対応と必要な助言の実施	・保護者様からの悩み相談にはその都度対応して親身に話を聞いている	(ご意見なし)	・保護者様から相談があったときには、現場スタッフや児童発達管理責任者が検討して相談・助言していく
	6 父母の会の活動の支援や、保護者会の開催による保護者同士の連携支援	・おひさま会・参観日を実施している	(ご意見なし)	・今後も保護者様同士が交流できる場を定期的に作っていく ・参加しやすい日時での開催に努めている

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
	7	子どもや保護者からの苦情に対する対応体制整備や、子どもや保護者に周知及び苦情があった場合の迅速かつ適切な対応	・保護者様の話を十分に聞き、速やかな対応をするようにしている。 (ご意見なし)	・子どもや保護者様の思いをしっかりと聞き、迅速に改善していくようにしていく	
	8	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮	・視覚優位な方が多くいるため、文字で知らせたり、場合によりイラストをつけて分かりやすく知らせている (ご意見なし)	・分かりやすい伝達方法を工夫したり、利用者や保護者様に合わせて伝わる方法を工夫していく	
	9	定期的な会報等の発行、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報についての子どもや保護者への発信	・毎月、お便りを配布をしている ・日々、ラインや連絡帳、サービス提供記録にて、丁寧な連絡を心掛けている (ご意見なし)	・定期的にお便りの発行とブログの更新を行っていく	
	10	個人情報の取扱いに対する十分な対応	・個人情報、鍵付きロッカーに保管している ・個人情報の記入があるものを破棄する時はシュレッダーにかけている ・保護者様の同意書を頂いている ・職員同士の会話は職員室のみで行う (ご意見なし)	・保護者様の同意を頂き、個人情報に関してはシュレッダー処理を行い、会話は職員室でのみ行うようにしていく	
非常時等の対応	1	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルの策定と、職員や保護者への周知徹底	・マニュアルを作成して、職員間で周知している (ご意見なし)	・個別支援計画書への掲載、面談時に保護者様への周知をしていく	
	2	非常災害の発生に備えた、定期的に避難、救出その他必要な訓練の実施	・避難訓練を実施している (ご意見なし)	・定期的に避難訓練を行っていく	
	3	虐待を防止するための職員研修機会の確保等の適切な対応	・虐待防止に関する研修に積極的に参加している ・参加した職員から他の職員に伝達している		・研修への参加を行い、利用者や保護者様の小さな変化を見逃さないようにしていく
	4	やむを得ず身体拘束を行う場合における組織的な決定と、子どもや保護者に事前に十分に説明・了解を得た上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画への記載	・離席がある子どもに座るように促すときには保護者に十分な説明を行い理解を得るようにしている		・カンファレンスで他に有効な方法がないかを十分検討し、やむを得ない場合は、保護者様への説明をして、了承を得ていく
	5	食物アレルギーのある子どもに対する医師の指示書に基づく適切な対応	・保護者様からの聞き取りのみで対応している		・保護者様からの聞き取りと調査票への記載で対応を決めていく
	6	ヒヤリハット事例集の作成及び事業所内での共有の徹底	・ヒヤリハットの記載を行い、職員間で共有し、同じことが起こらないように工夫している		・報告書の記載をし、職員間で共有して同じことが起こらないように徹底していく